# 工学研究科 電気工学専攻 修士課程 授業科目

必修·選択		授業科目		立数2年次	担当者	備考
コース選択必修科目	電子電気システム	電気工学特別演習 I ~ IV 電気工学特別研究 I ~ IV	2 4	2 4	大浦 邦彦 小田井 圭 二川 佳央 神津 薫 今井 隆浩	
	応 用情報学	電気工学特別演習 I ~Ⅳ 電気工学特別研究 I ~Ⅳ	2 2	4 4	大屋 大鬼 老子 老子 老子 老子 本子 本子 本子 本子 本子 中村 中村 東村 和田	
	選	電子回路特論 組込みシステム開発 電子物性特論 情報通信特論 電力工学特論 電子デバイス特論 高電圧工学特論 電子計測特論	2 2 2 2 2 2 2 2 2		小田井 圭 小田井 圭 神津 薫 高橋 幸雄 今井 隆浩 福島 伸 今井 隆浩 上野	
	択	パワーエレクトロニクス特論 超 薄 膜 非線形電子回路(令和7年度休講) 電磁波応用工学特論 無線工学特論 マイクロ波・光工学特論	4 2 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4	2 2 2 2 2 2	餅川     宏       酒井     平祐       二川     佳央       九鬼     孝夫       九鬼     孝夫	
科目		医用電子工学特論 センサー材料特論 システム制御特論 ソフトウエア工学特論 システム開発のプロジェクトマネジメント 情報数理特論	4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4	2 2 2 2 2 2	<ul><li>二川 佳央</li><li>神津 薫</li><li>大浦 邦彦</li><li>池田 尚義</li><li>大屋 隆生</li></ul>	
		情報工学特論 ユビキタス・インタフェース特論 メディア情報処理学特論 身体動作学特論 スポーツ医工学特論 人工知能学特論 情報システム学特論	4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4	2 2 2 2 2 2 2 2	大屋 隆生 中嶌 信弥 中嶌 信弥 和田 匡史 地神 裕史 中村 嘉志 中村嘉志・高橋幸雄・酒井平祐	

21 hb 122.40	授業科目	単 位 数	+0 // +v	備考
必修·選択		1年次 2年次	担当者	
	スポーツ情報工学特論 A	2	和田匡史・地神裕史	
選	スポーツ情報工学特論 B	2	伊藤 浩志	
<b>选</b>	生体情報工学特論 A	2	岩原 文彦	
	生体情報工学特論 B	2	谷端 淳	
	医工学システム特論(令和7年度休講)	2		
択	代数学特論	2	澤邉 正人	
	解析学特論	2	鈴木 龍一	
	幾何学特論	2	新庄 玲子	
	応用確率統計特論	2	布田 徹	
科	物理学特論	2	関口 宗男	
	計算物理学特論	2	和田 浩明	
	地球科学特論	2	乾 睦子	
目	固体化学特論※	2	名越 篤史	
Ħ	化学熱力学特論	2	名越 篤史	
	アカデミック英語	2	小崎 充	

<sup>※</sup> 隔年開講科目です。履修の際は、履修年度の時間割を参照してください。

#### 1. 3 建設工学専攻

#### (1) 建設工学専攻の目的

建設工学専攻修士課程は、人間社会や環境と調和を図りながら、さまざまな問題に的確に対処できる高度な専門能力を有する建設技術者の養成ならびに研究者の育成を目的としています。

(2) 建設工学専攻のコース内容と特色

研究の根幹は、基礎・応用・創造である。本専攻では、建設分野に関連する、最新かつ高度な専門知見を習得した人材を育成するため、次の5コースが設置されている。

- ア 構造・防災・サステナブル
- イ まちづくり環境
- ウ 建築総合技術
- 工 福祉住環境
- オ 建築デザイン・計画

各コースの内容・特色を以下に示す。

ア. 構造・防災・サステナブルコース

最近の例をみてもわかるように、地震、津波、火山噴火、洪水などがあると、程度の差はあっても必ず災害が生ずる。災害の発生を完全に防止することは不可能かもしれないが、最小限に食い止める必要がある。合理的な防災や環境保全を行うためには、構造、土質・地盤、水理、材料等の知見も必要となるので、これらも含め、本コースでは防災技術や環境保全技術の基本と応用、さらに手法の開発などを教育研究する。

### イ、まちづくり環境コース

環境と整合した国土や都市、あるいは町を創るための計画・デザインに関わる基礎の充実と応用・開発を図るコースである。具体的には橋梁、道路、港湾、河川等の景観デザイン、さらにこれらを含めた都市・町計画を扱う。このとき、これら構築物が造られる対象地域の歴史や文化との関わり、経済活動、人間生活、自然環境に及ぼす影響なども研究対象とする。

### ウ. 建築総合技術コース

建設活動をめぐる生産システム、利用から廃棄に至るまでの建物のライフサイクルについて、科学的視野に立って多角的視点から研究する。住生活から社会生産活動を含め、建築物の機能保持・省エネ・省 CO<sub>2</sub> のための環境設備、先進的な生産に関わる建設材料の特性と挙動を探求し、要求性能を満足させる構造技術・生産技術・建物運用技術などを研究する。また進展する生産活動や環境問題等を背景に、資源循環や生産効率等を考慮した工事計画と施工法、持続可能な建築物の環境性能・建築設備のあり方を教育研究する。

## エ. 福祉住環境コース

地球環境保全と人間生活環境の調和を目指し、都市・国土環境の整備等に関する基礎原理と応用面について研